

~ 13
3667
25



門 13
號 3667
卷 25

犬 三 八
糸 十 編

集上

仙果錄
國貞画

紅英堂
發市



故鎌倉管領足利持氏朝臣の両公子春王安王の少傳大塚匠作三成之嫡子
大塚番作三成之嫡子信乃成孝才干名の精兵を以て来りて本城を
攻領せしむるを抜父祖の与り先君は舊怨を雪るめは是保同
盟の義人道節も亦君父の讐言を復えんと欲す是奉其大義を
資助すあり吾既已城を抜けど毫も犯さずあり蓋民の国の基
あり金城石塚ありと云も民多し其誰と兵守り即倉庫を用
きて窮民を賑ふ數行を録し姓名を留むる主人公も亦是民の
父母也累世の國司蓋汝之民を憐むる倘民之吾も受むるを咎む者
ありを吾復来と城を屠らん悔ふるも是文明正年癸卯春正月廿日諭示

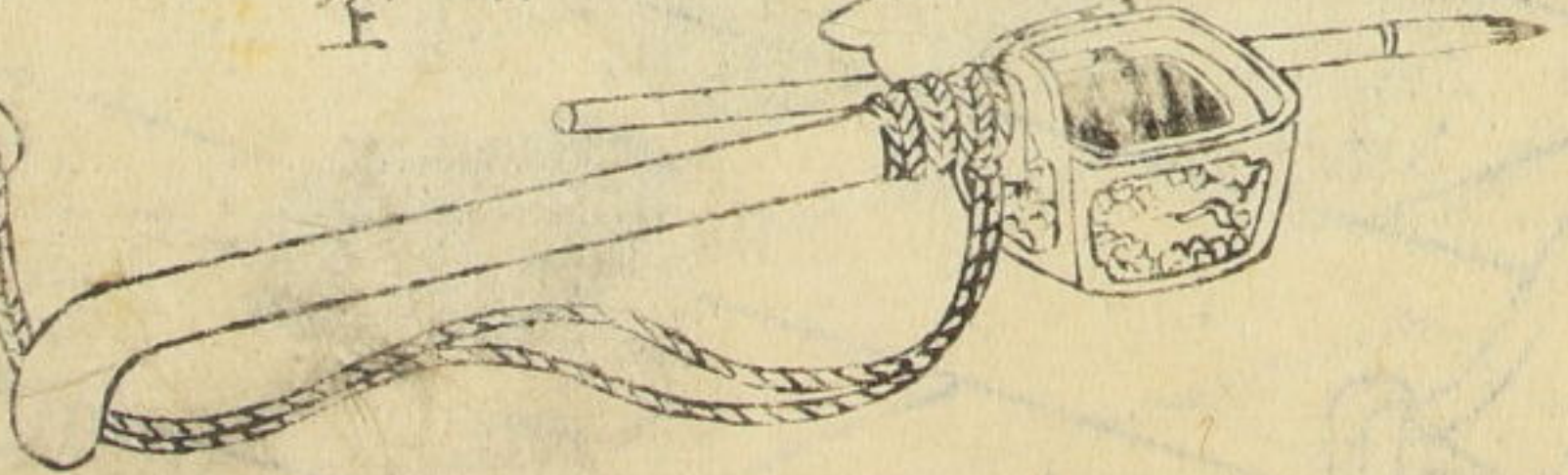
安政四年己春新刊

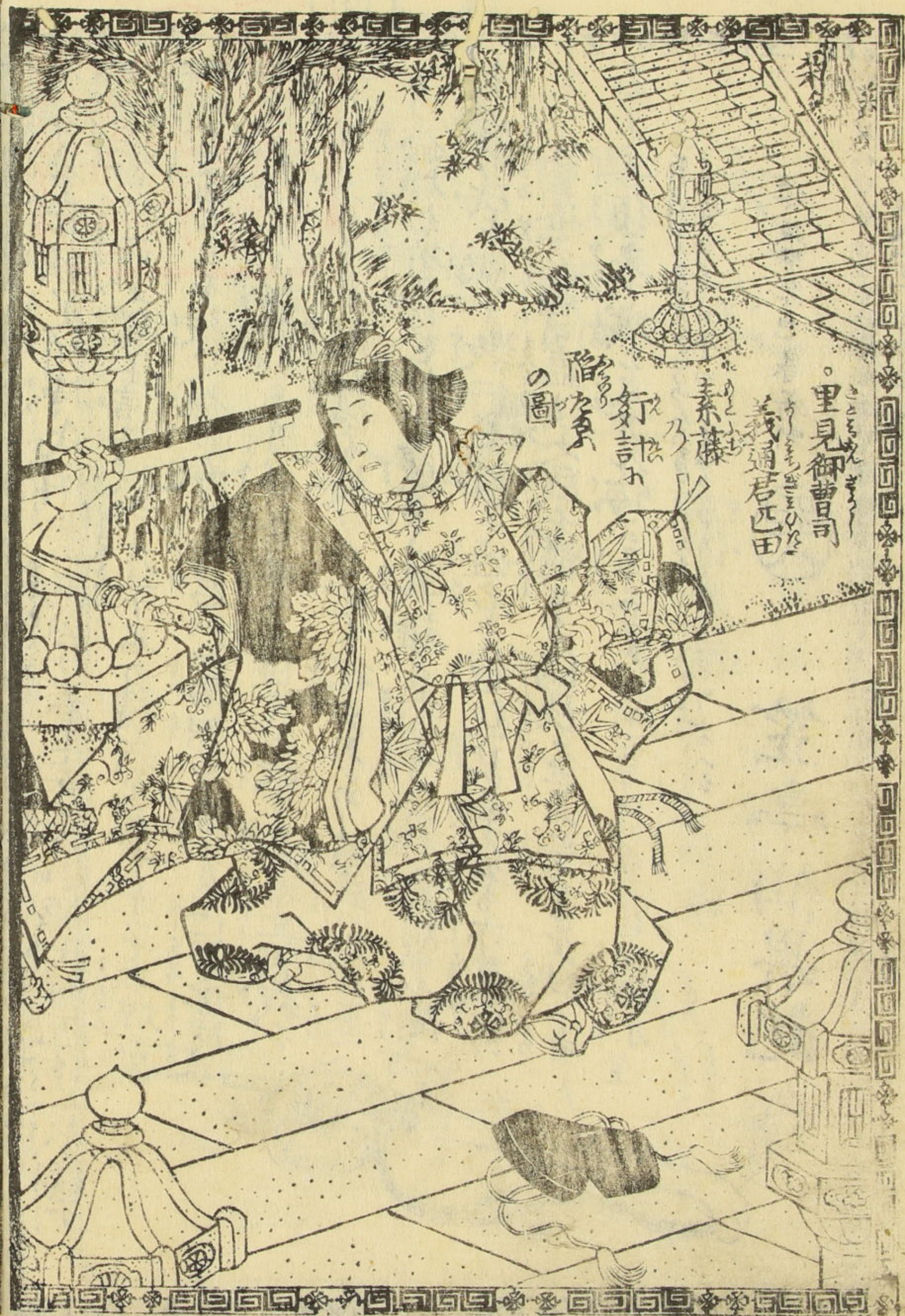
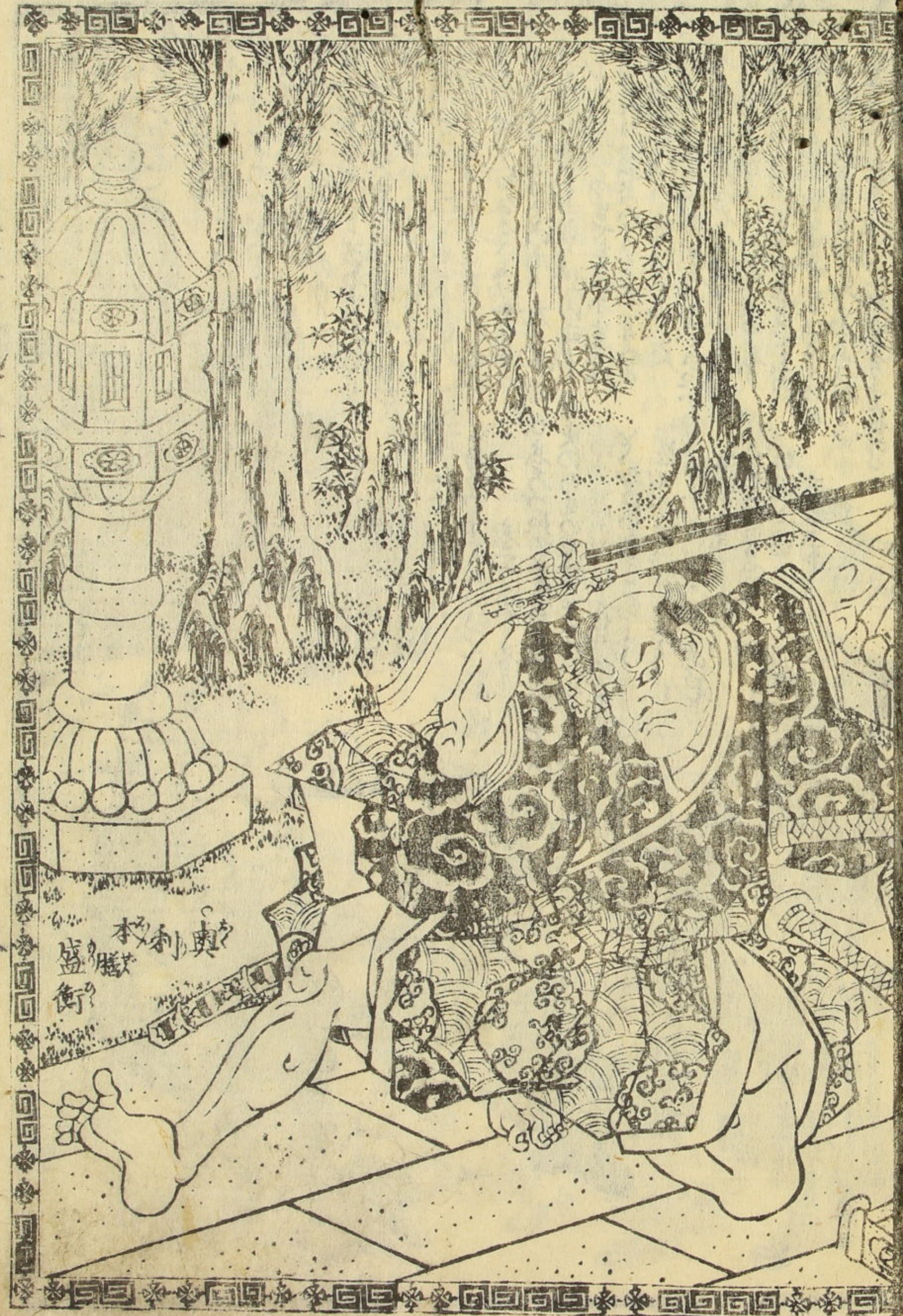
甲八

笠亭仙果記

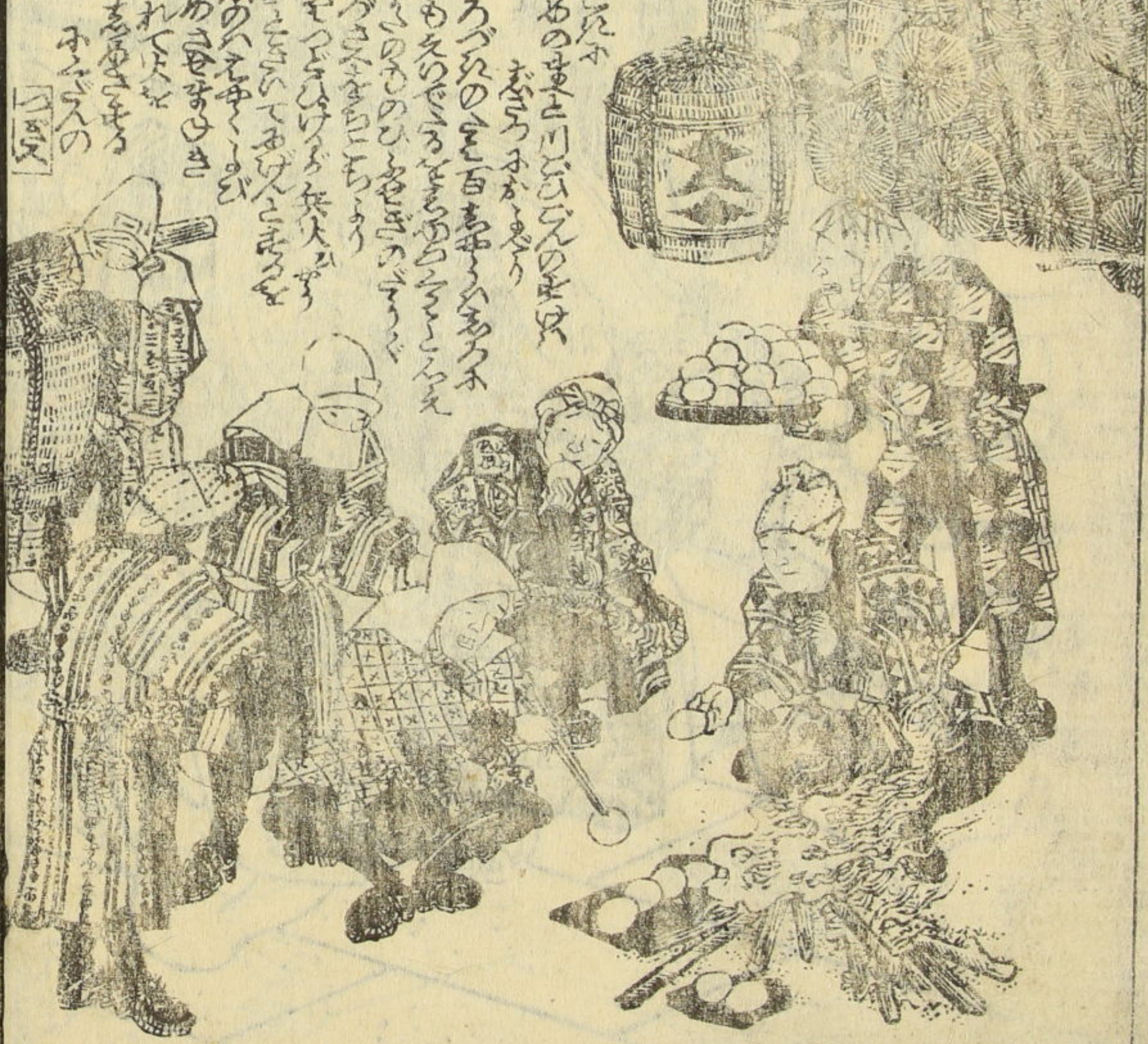
大草氏世

笠亭



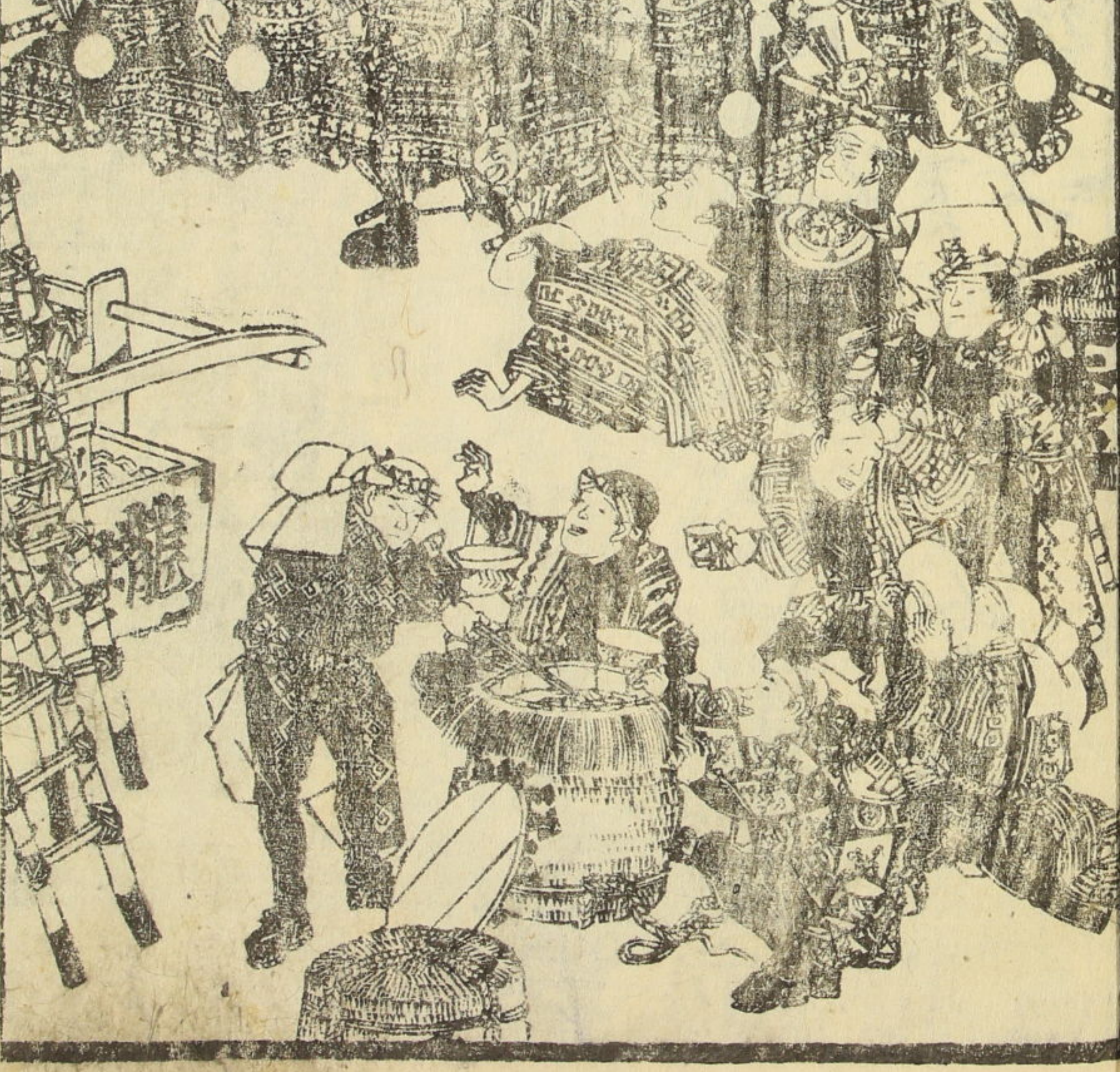


○のなかの城中で焼くのは
 入りたる士卒は、さういふ人
 利を
 さあ
 るんき木を
 るんき木の
 ものありと
 るんき木の
 るんき木の
 るんき木の
 るんき木の



六重九

○のなかの城中で焼くのは
 入りたる士卒は、さういふ人
 利を
 さあ
 るんき木を
 るんき木の
 ものありと
 るんき木の
 るんき木の
 るんき木の
 るんき木の



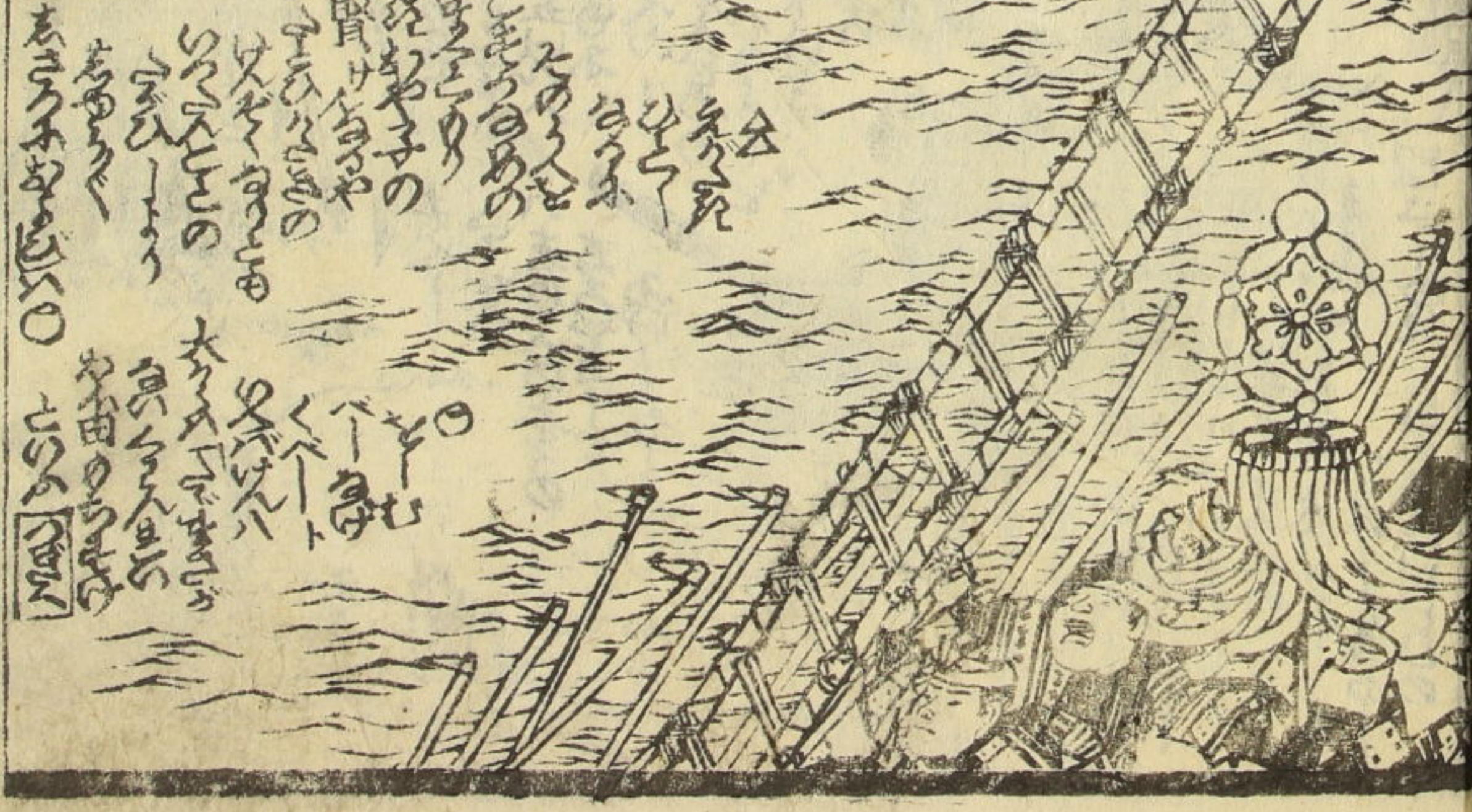


此の如く一歩の隙もあらずして
 城の石垣を打ち破りて
 城内に入りて戦ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事

此の如く一歩の隙もあらずして
 城の石垣を打ち破りて
 城内に入りて戦ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事

此の如く一歩の隙もあらずして
 城の石垣を打ち破りて
 城内に入りて戦ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事

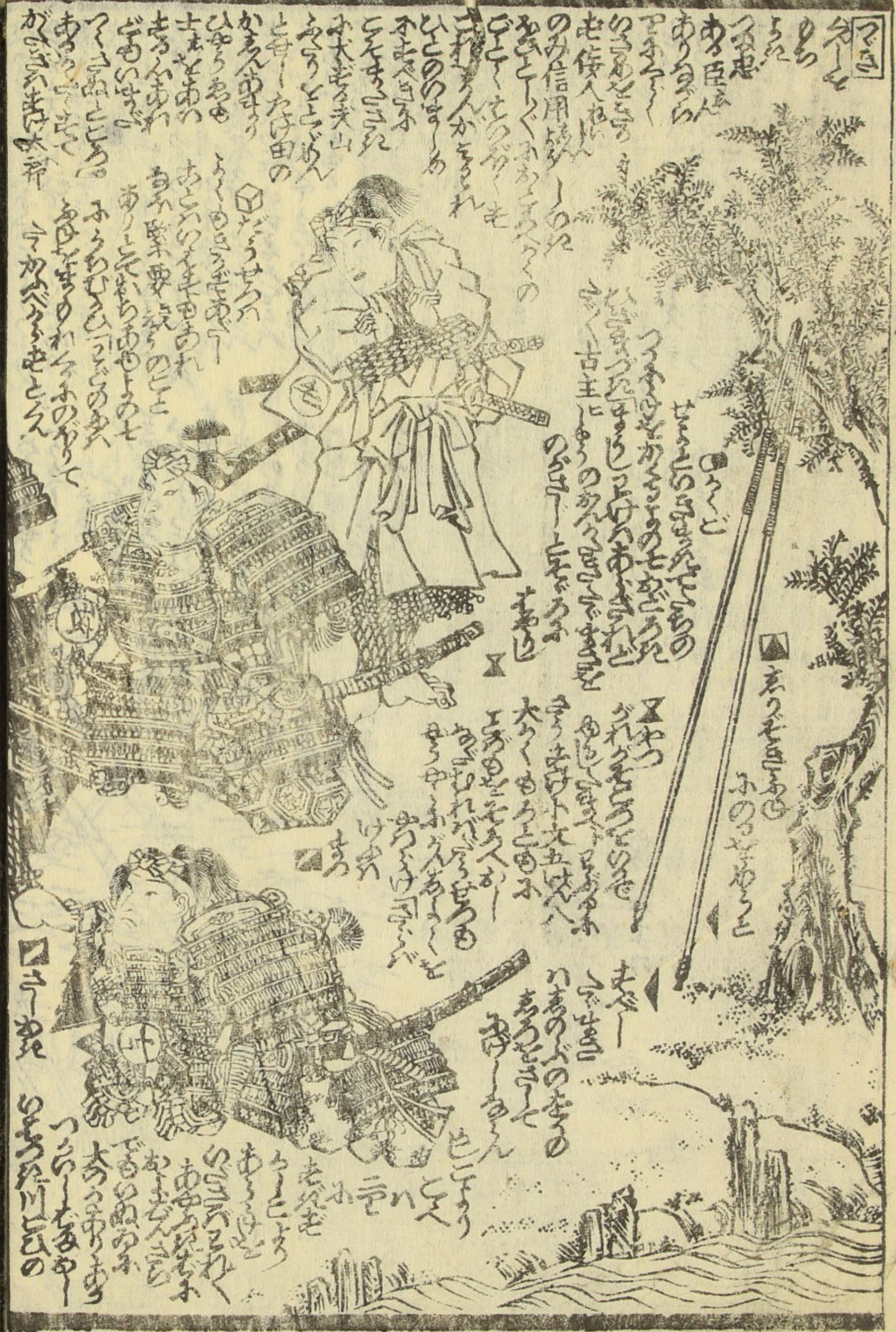
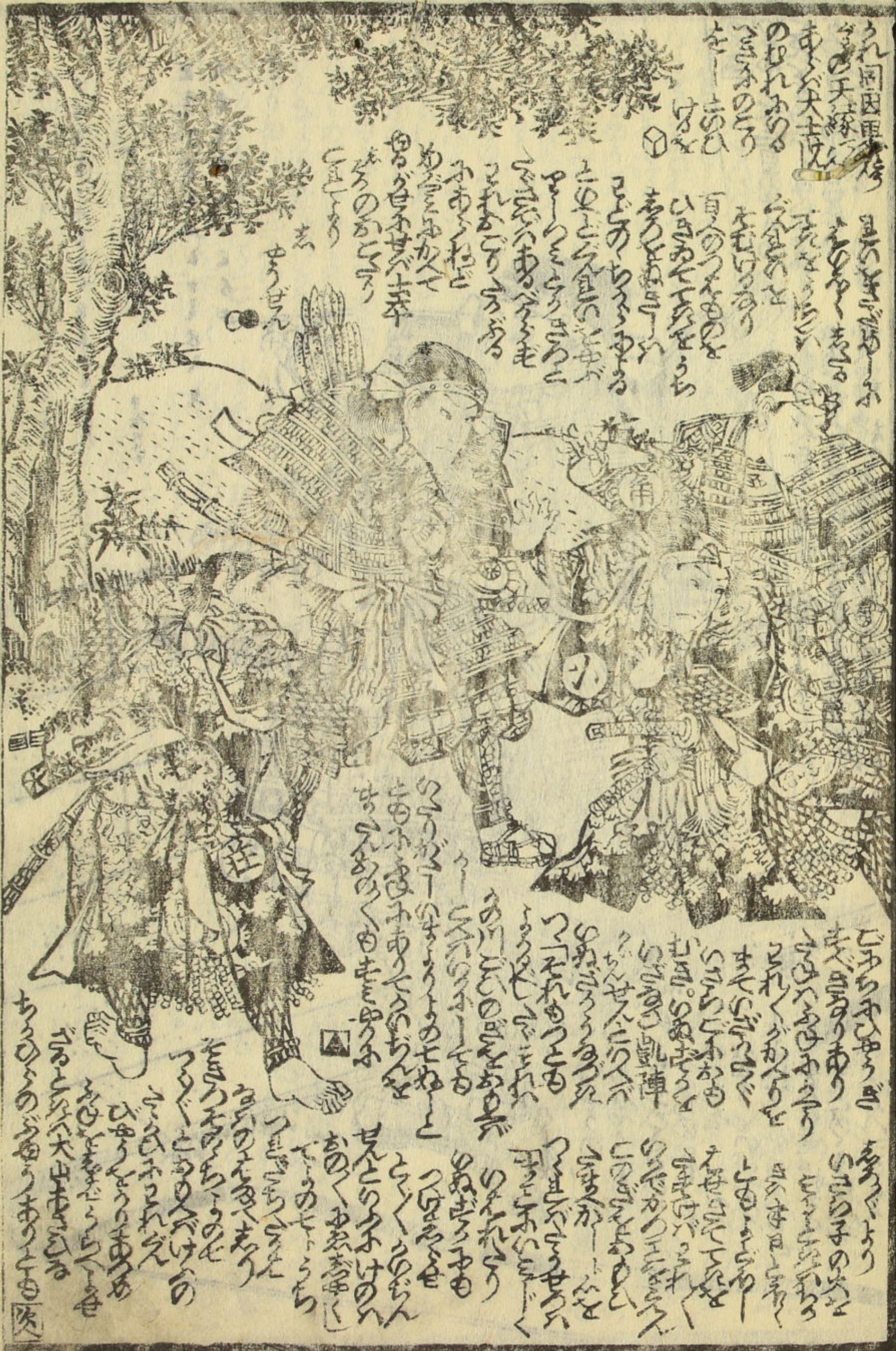
此の如く一歩の隙もあらずして
 城の石垣を打ち破りて
 城内に入りて戦ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事



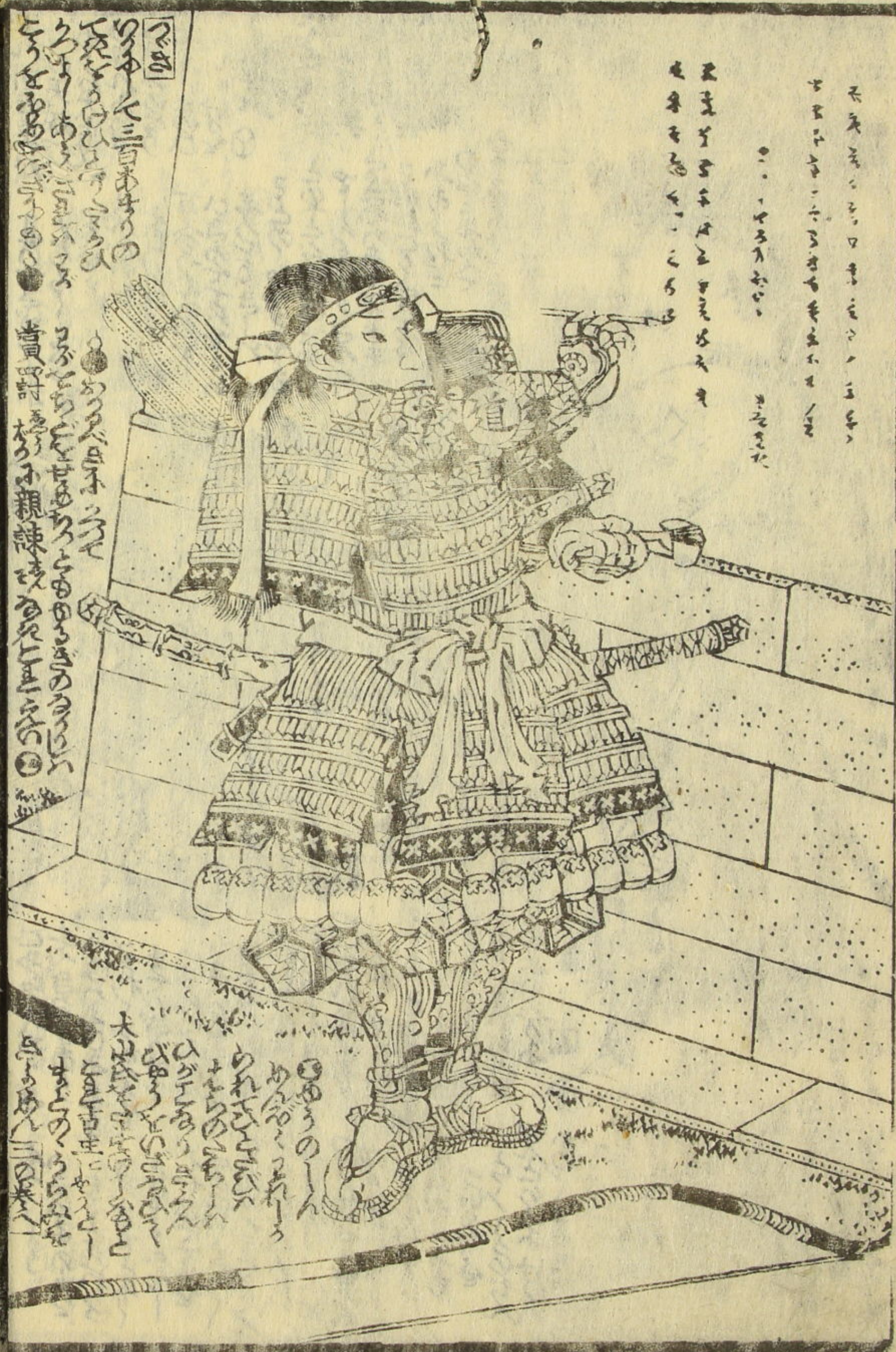
此の如く一歩の隙もあらずして
 城の石垣を打ち破りて
 城内に入りて戦ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事

此の如く一歩の隙もあらずして
 城の石垣を打ち破りて
 城内に入りて戦ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事

此の如く一歩の隙もあらずして
 城の石垣を打ち破りて
 城内に入りて戦ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事
 なるべしと云ふ事



不詳 如 九 九
不詳 如 九 九
不詳 如 九 九
不詳 如 九 九

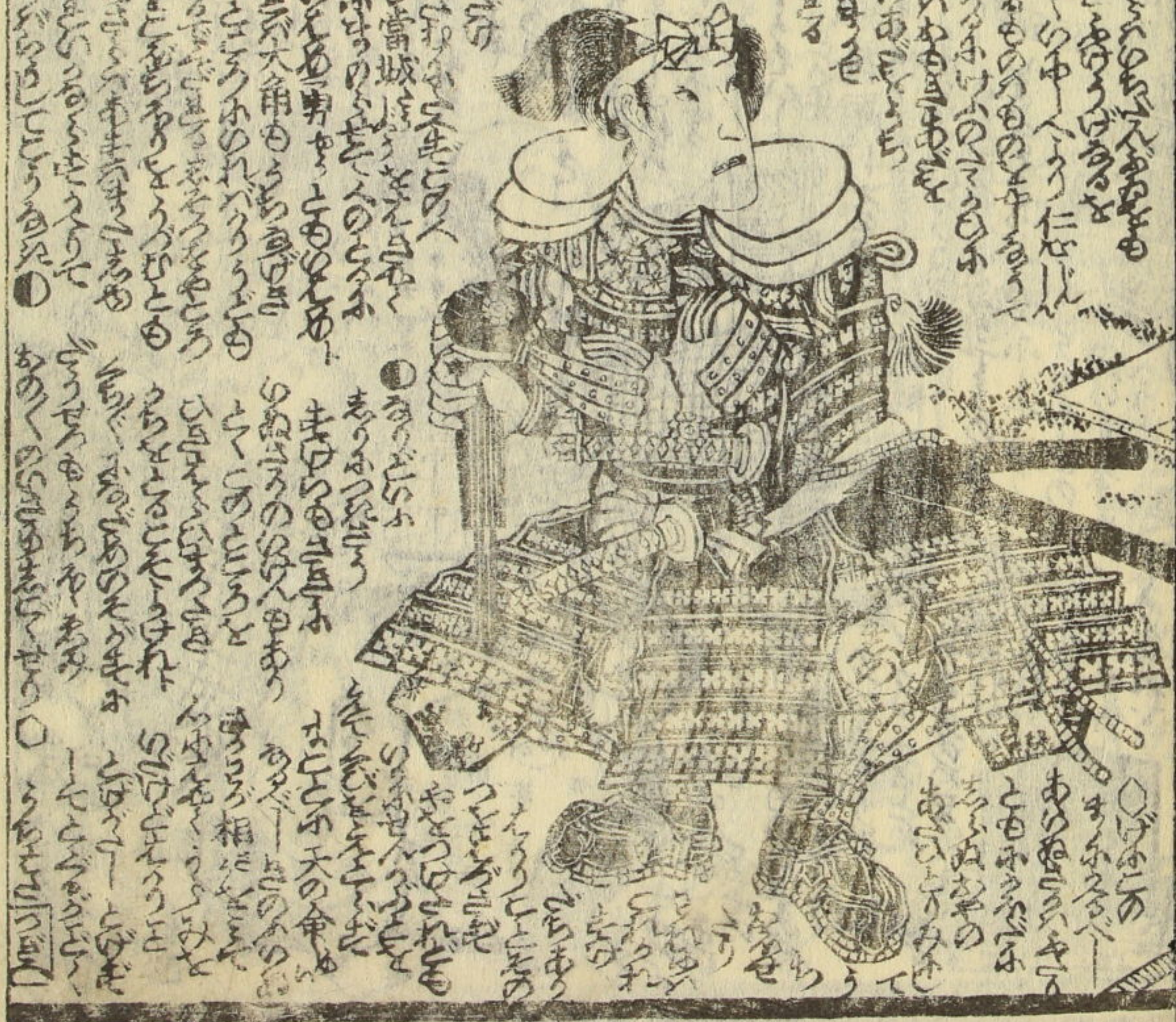


不詳 如 九 九
不詳 如 九 九
不詳 如 九 九

不詳 如 九 九
不詳 如 九 九
不詳 如 九 九

不詳 如 九 九
不詳 如 九 九
不詳 如 九 九

不詳 如 九 九
不詳 如 九 九
不詳 如 九 九
不詳 如 九 九

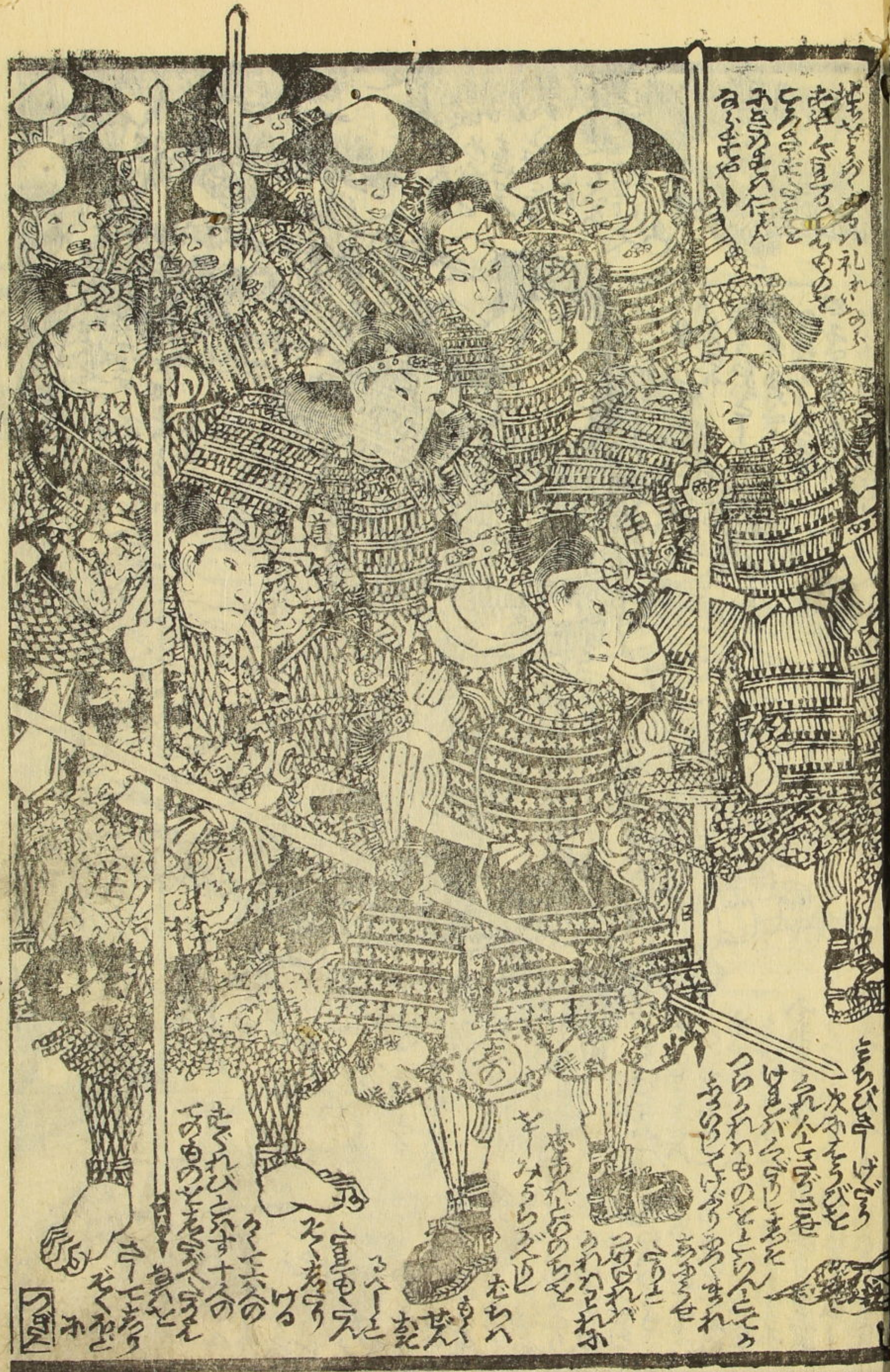


不詳 如 九 九
不詳 如 九 九
不詳 如 九 九

不詳 如 九 九
不詳 如 九 九
不詳 如 九 九

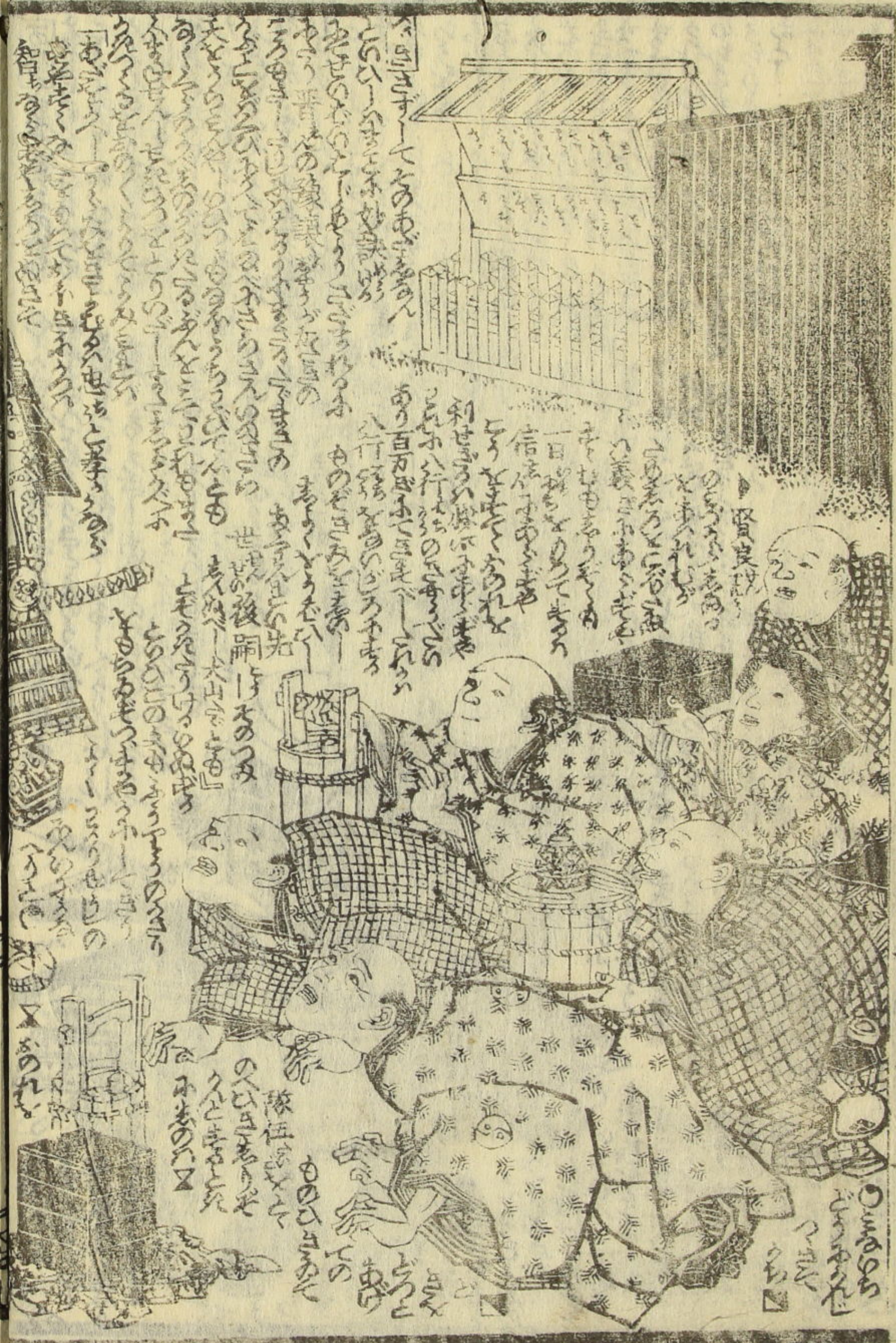
不詳 如 九 九

不詳 如 九 九



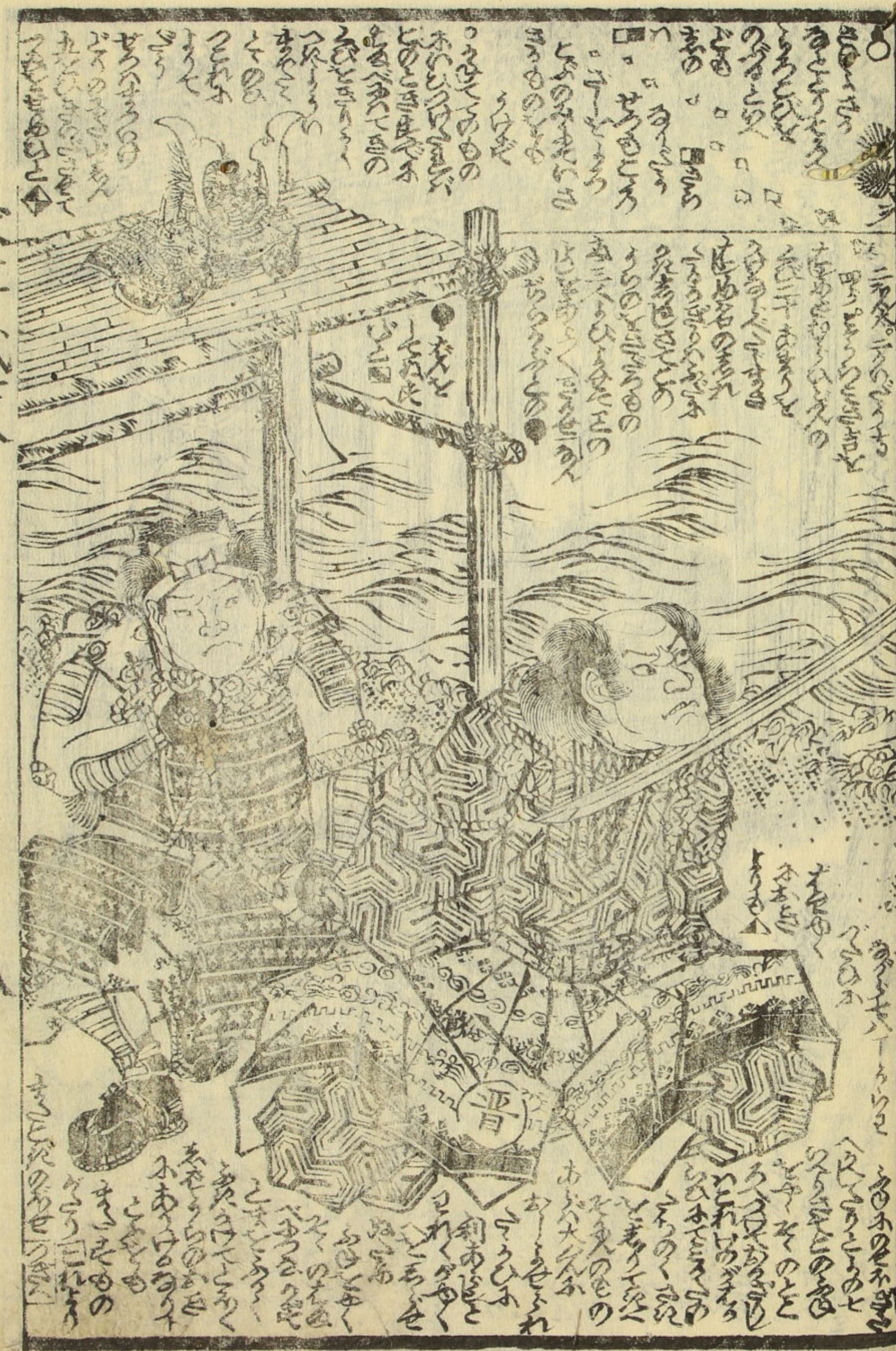
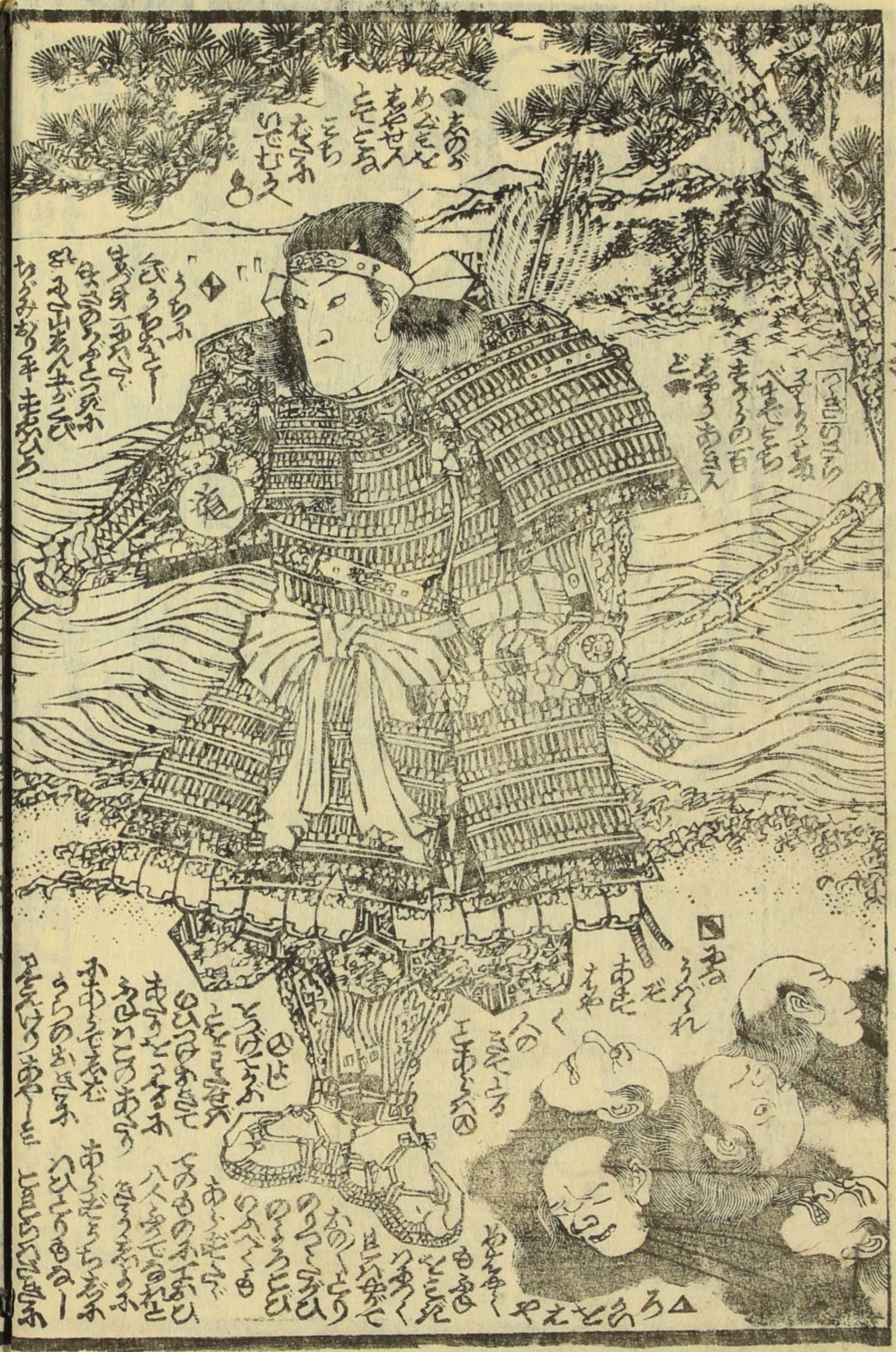
九草綱

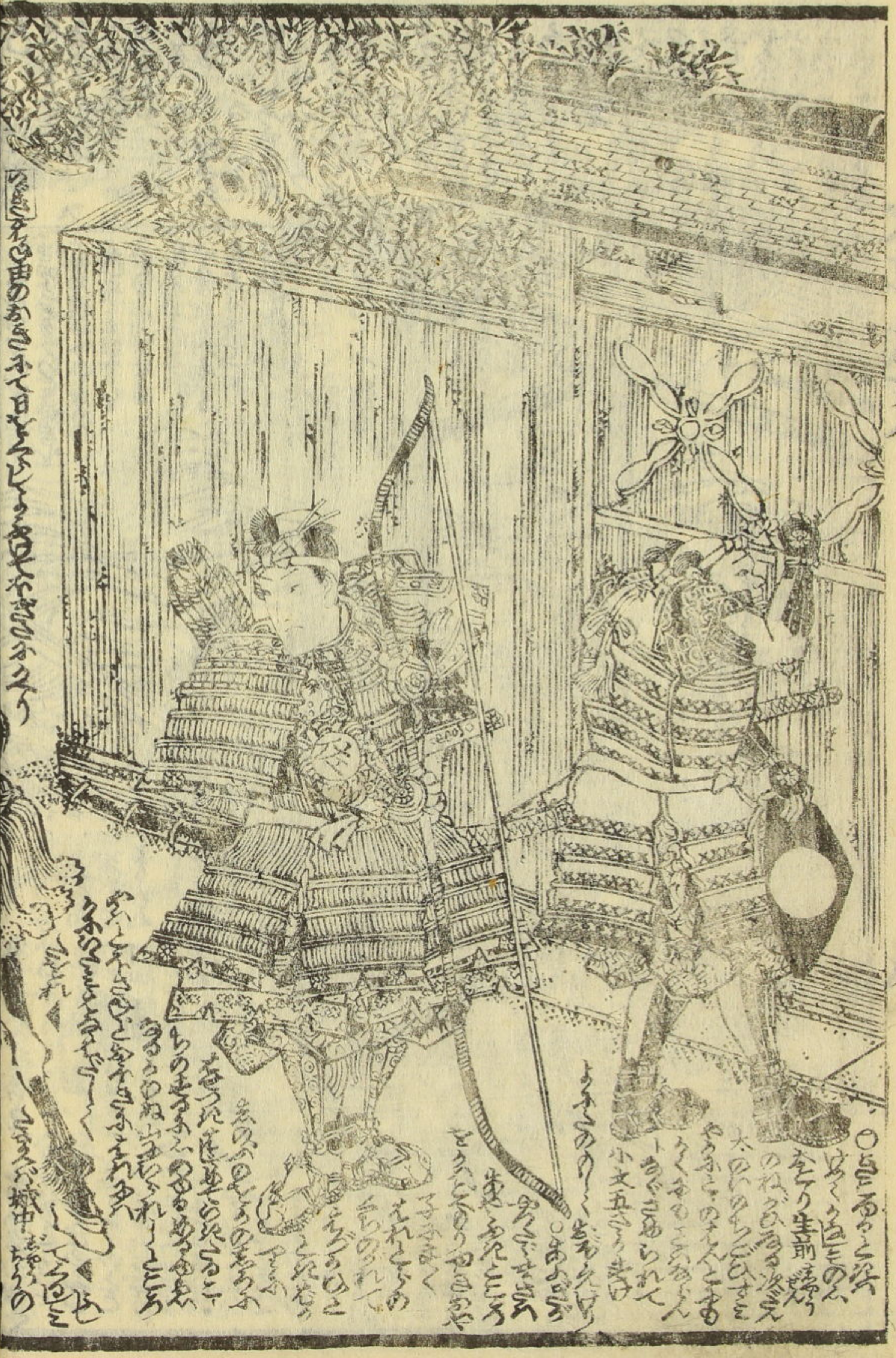
五



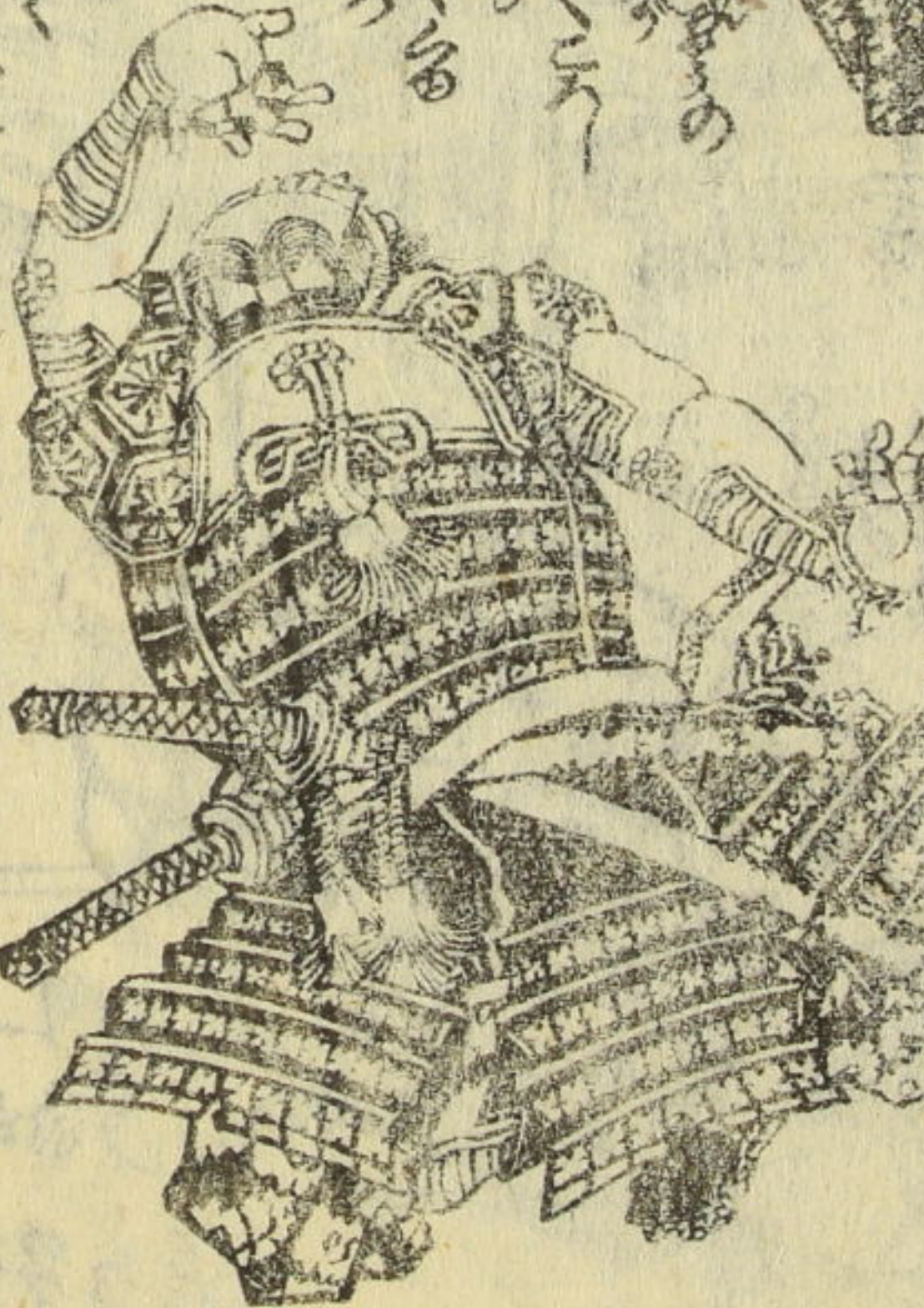
九草綱

五





あしひらのたけのこはあつぱい
白くはくはくしてあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい



あしひらのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい

あしひらのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい

あしひらのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい

あしひらのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい

國貞画

仙果録

濡衣霧雨草紙

一名 霧六郎 初編五編も出板

柳亭 梅彦作
梅蝶樓 國貞画

東譚話宇津山苞

一名 馬二教 初編五編も出板

柳亭 種彦作
梅蝶樓 國貞画

平家 實母散

私方実母二人の妻は、常て八重山、二百四十八年、
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい
あつぱいのたけのこはあつぱい

中橋薬師町二丁目
葉堂孝輔製

せんせいの妙薬

御用藥所 信州上田東山堂製

せんせいの妙薬
せんせいの妙薬
せんせいの妙薬

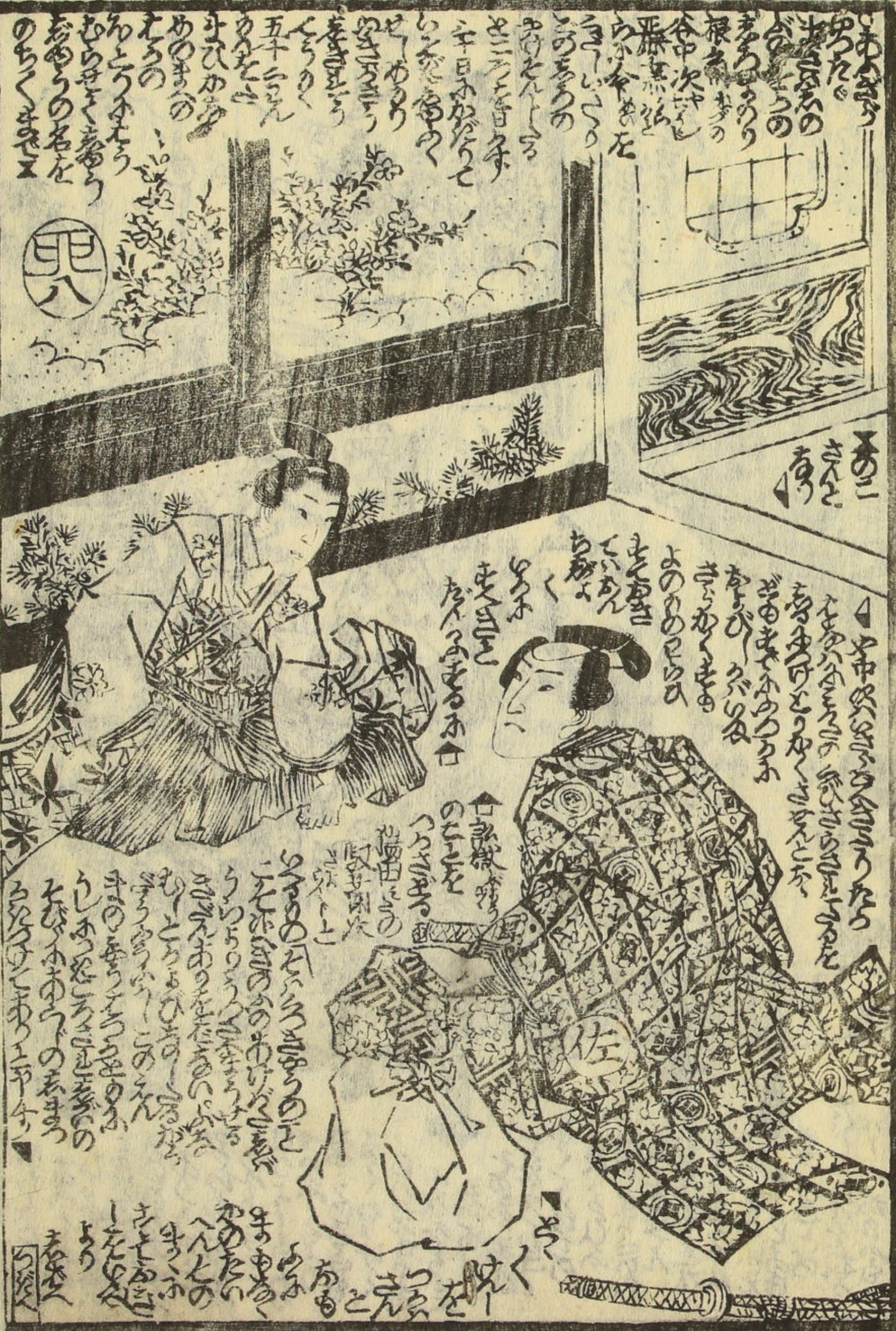




笠亭仙果抄録
一樂齋國清画

世八編下





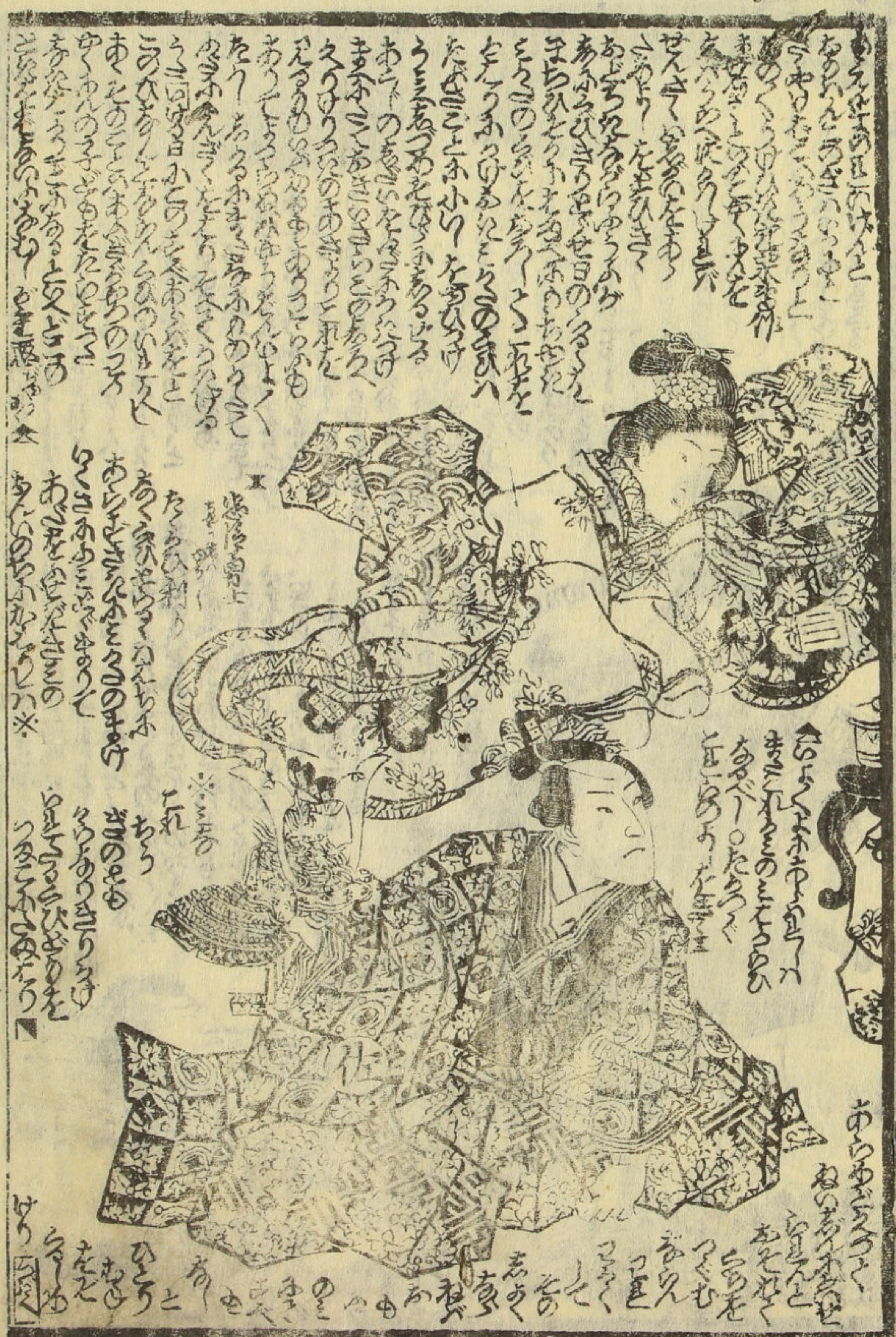
犬の
さし
八編
下冊
仙果錄
國貞画

津多屋並發販



あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ

あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ



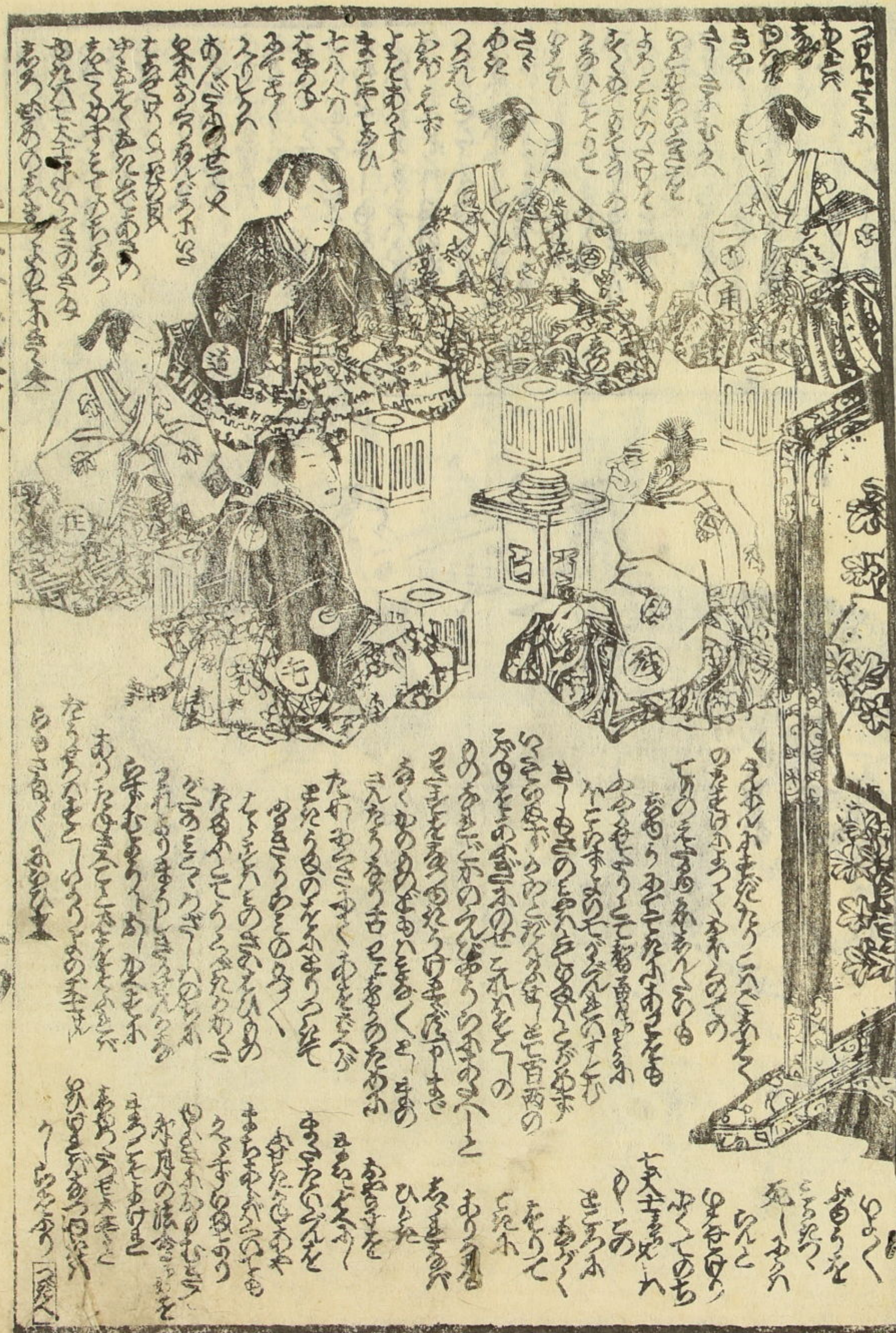
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ

あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ
あつちをわあ



つた一般の...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



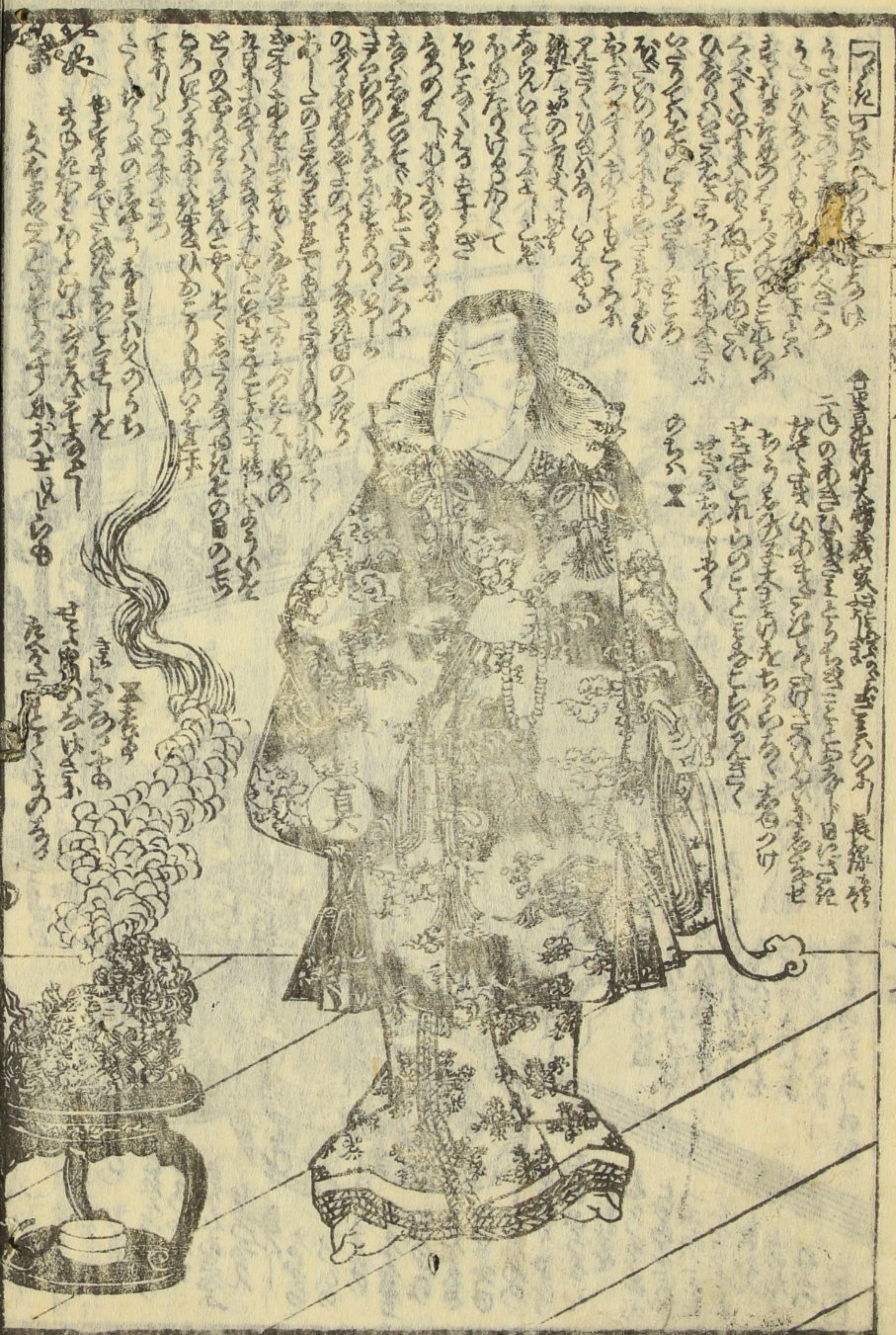
...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて

あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて



あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて

あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて
あまのむすぢのこころをわらへりて

笠亭仙果鈔錄 梅蝶樓國貞画



白芙蓉のすい
曙のうらみ
下は三十ある
あやうい
佐々木百二十
ありあり
下は三十ある
あやうい
佐々木百二十
ありあり

五臟通調圖
六社八銀二友
先生先生の奇方
唐土の風景
大あやうい
五少中一の
あやうい

筆海四國聞書

弘法大師
筆跡新話

柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

假名情談戀畦倉

推現堂
堤優響

頼川如皋作
梅蝶樓國貞画

明鴉墨画迺福

柳亭次郎
梅蝶樓

三亭春馬合作
梅蝶樓國貞画

童謡妙々車

十編 種彦作
十一編 國貞画

花封巻玉章

七編 國貞画

薄倂幻日記

九編 春水作
十一編 國貞画

矢傳犬の州紙

四編 柳亭録
四十五編 國貞画

地本草紙問屋

萬屋吉藏板

フトル 入ヤトル

